

Point 001

- 1 Glen and Wilma usually () their washing on weekends.
 ① are done ② do ③ have been doing ④ have done (近畿大)
- 2 “What did you do last night?”
 “I watched TV, practiced the piano, and () my homework.”
 ① did ② have done ③ would do ④ do (桃山学院大)
- 3 If you turn left and go straight, you () the station on your right.
 ① are found ② found ③ have found ④ will find (大阪国際大)

Point 002

- 4 When Tom came home, Mary () a book in the living room.
 ① has read ② is reading ③ reads ④ was reading (京都産大)
- 5 I () for a trading company in Tokyo at this time next year.
 ① have been working ② will be working
 ③ have worked ④ was working (名城大)

Point 003

- 6 Listen! I () a funny noise outside.
 ① hear ② am hearing
 ③ had been hearing ④ had heard (高崎経大)
- 7 We () each other since we met in junior high school six
 years ago.
 ① were known ② were knowing
 ③ have known ④ have been knowing (北陸大)

- 1 グレンとウィルマは、たいてい週末に洗濯をします。
- 2 「昨日の夜は何をしましたか」
「テレビを見て、ピアノの練習をして、宿題をしました」
- 3 左に曲がってまっすぐ行けば、右手に駅が見えるでしょう。
- 4 トムが帰宅したとき、メアリーは居間で本を読んでいた。
- 5 来年の今ごろは、私は東京の商社で働いているでしょう。
- 6 聞いて！ 外で変な音が聞こえる。

Point 001 基本(現在・過去・未来)時制の用法

- 1 現在時制 基本
 ▶ 現在の習慣、事実や不変の真理などは現在時制で表す。本問は現在の習慣。
- 2 過去時制 基本
 ▶ 過去のある時点での動作・状態・事実などは過去時制で表す。
- 3 未来時制 基本
 ▶ 未来の事柄は、原則として **will do** の形で表す。なお、本問のif節は条件の副詞節なので、未来のことでも現在時制で表している(▶ Point 008, 009)。

Point 002 進行形の用法

動作がある時点で進行していることを表す場合、進行形(*be doing*)を用いる。進行形にできる動詞は一般に動作動詞と呼ばれる。

- 4 過去進行形 基本
 ▶ *when* 節が示す過去の時点で、*read* という動作が進行中であることを表す過去進行形の④ *was reading* を選ぶ。
- 5 未来進行形 基本
 ▶ *at this time next year* 「来年の今ごろ」という未来の時点で、*work* という動作が進行中であることを表す未来進行形の② *will be working* を選ぶ。

Point 003 原則として進行形にしない動詞

一般に状態・知覚・感情を表す動詞は進行形にしないものが多い。

- 6 **hear** 「…が聞こえる」一通例、進行形にはしない 標準
- 7 **know** 「…を知っている」一通例、進行形にはしない 標準

整理 1

原則として進行形にしない動詞

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| • belong 「所属する」 | • have 「…を持っている」 | • know 「…を知っている」 |
| • be 「…である」 | • possess 「…を所有する」 | • like 「…を好きである」 |
| • contain 「…を含む」 | • resemble 「…に似ている」 | • love 「…を愛する」 |
| • consist 「成り立つ、ある」 | • see 「…が見える」 | • smell 「…のにおいがする」 |
| • exist 「存在する」 | • hear 「…が聞こえる」 | • taste 「…の味がする」 |

* **have** は「…を食べる」などの意味では進行形にできる。

* **smell** が「…のにおいをかぐ」の意味の場合、**taste** が「…の味見をする」の意味の場合は進行形にできる。

* **listen, look, watch** は進行形にできる。

- 7 私たちは6年前に中学で出会ったところからの知り合いだ。

Point 004

8 “Are John and Mary still living in New York?”

□□□ “No, they () to Dallas.”

- ① are just moved
③ have just moved

- ② had just moved
④ will just move

〈センター試験〉

9 Next Sunday he () in Kobe for three years.

□□□ ① has stayed

② stays

③ will stay

④ will have stayed

〈東北学院大〉

10 When we arrived at the hotel, the wedding () already.

□□□ ① started ② starts ③ had started ④ has started

〈芝浦工大〉

11 When I went back to the town I () eight years before, everything was different.

□□□

- ① was leaving ② have left ③ had left ④ was left

〈大阪大谷大〉

Point 005

12 Sandy () in the library when I saw her two hours ago.

□□□ ① has studied

② was studying

③ has been studying

④ is studying

〈北里大〉

8 「ジョンとメアリーは、まだニューヨークに住んでいるの？」

「いいえ、二人はダラスに引っ越したところです」

9 今度の日曜日で、彼は3年間神戸に住んだこととなります。

10 私たちがホテルに着いたときには結婚式はもう始まっていた。

11 8年前に離れた町に戻ってきたとき、すべてが違っていた。

12 2時間前に見かけたときには、サンディは図書館で勉強していた。

Point 004 : 現在完了・未来完了・過去完了の用法

- 8 現在完了 (**have [has] done**) 標準
▶ 現在完了は、現在を基点にして、それまでの完了・結果、経験、(状態の) 継続を表す。本問は完了・結果を表す用法。
- 9 未来完了 (**will have done**) 標準
▶ 未来完了は、未来のある時点を基点にして、それまでの完了・結果、経験、(状態の) 継続を表す。
▶ 本問は next Sunday という未来の時点を基点にして、それまでの「3年間」にわたる stay という状態の継続を表している。
- 10 過去完了 (**had done**) 標準
▶ 過去完了は、過去のある時点を基点にして、それまでの完了・結果、経験、(状態の) 継続を表す。
▶ 本問は when 節で示された過去の時点を基点にして、それまでに wedding が start 「始まる」という動作が完了したことを表している。
- 11 大過去—**had done** 標準
▶ 2つの過去の事柄があって、一方が他方より「前」であったことを表す場合、大過去というが、形は過去完了と同じ **had done** を用いる。
▶ 本問では「私が(町に)戻った」時点よりも、「私が(町を)離れた」時点の方が「前」であることを示している。
▶ the town の後には目的格関係代名詞 which [that] が省略されている (→ 277)。

Point 005 : 現在完了と併用不可の表現

現在完了はあくまでも現在を中心とする表現なので、明確に過去を表す副詞(句・節)などと併用することはできない。

- 12 **when I saw her two hours ago**—現在完了と併用不可 英作 標準
▶ **when I saw her two hours ago** は明確に過去を表す表現なので、過去時制になる。本問では過去進行形を選ぶ。 **yesterday, last week, last year, when I was a child** 「私が子どものころ」なども明確に過去を表す表現。
+プラス 「今しがた/たった今」の意味の **just now** も過去時制で用い、現在完了とは併用できない。この点もよく問われる。なお、just と now がそれぞれ単独であれば、現在完了との併用が可能である。

13 I ^①haven't seen Tom ^②for ^③a long time. When ^④have you seen
 him last? 〈流通経大〉

Point 006

14 空港まで友だちを見送りに行ってきたところです。
 I have just () to the airport to see my friends off. 〈立命館大〉

15 Mary is absent today. She () to Hokkaido.
 ① comes ② has been
 ③ has gone ④ has arrived 〈上智大〉

Point 007

16 I () for a present for my teacher since last week, but I can't
 find one.

- ① had been looking ② have been looking
 ③ am looking ④ was looking 〈関東学院大〉

17 We () for nearly thirty minutes when the train arrived.
 ① had been waiting ② have been waiting
 ③ have waited ④ will have waited 〈獨協大〉

18 We () each other since we entered this college.
 ① are knowing ② knew
 ③ have known ④ would know 〈東北学院大〉

- 13 私はトムに長い間会っていません。あなたが最後に彼に会ったのはいつですか。
 14 今日、メアリーは休んでいる。彼女は北海道に行ったのだ。
 15 先週以来、私は先生への贈り物を探しているのだが、いまだに見つけられない。
 16 列車が到着したとき、私たちは30分近く待ち続けていた。
 17 この大学に入って以来、私たちは知り合いである。

- 13 疑問詞 **when** 「いつ…するのか」—現在完了と併用不可 **英作 標準**
 ▶ 疑問詞 **when** で始まる疑問文では、原則として現在完了は用いない。現在までの「いつ」の時点かを問うなら、過去時制を用いる。

Point 006 : 現在完了の have been to A と have gone to A

- 14 **have been to A** 「㊦Aに行ってきたところだ、㊧Aに行ったことがある(主として英)」 **標準**
- 15 **have gone to A** 「㊦Aに行ってしまった(ここには)いない、㊧Aに行ったことがある(主として米)」 **標準**
 ▶ 問題 14, 15 とも㊦の用法。「Aに行ったことがある」の意味では have been to A / have gone to A のいずれも用いるので、焦点となるのは㊦の用法と考えてよい。

Point 007 : 完了進行形 (have been doing) の用法

動作動詞(進行形にできる動詞)で、現在または過去・未来のある時点を基点として、それまでの動作の継続を表す場合、完了進行形を用いる。

- 16 現在完了進行形 (**have [has] been doing**) **標準**
 ▶ since last week 「先週以来」という表現があることから、現在を基点に look for という動作動詞でこれまでの継続を表す必要がある。よって、現在完了進行形の㊡ have been looking を選ぶ。
- 17 過去完了進行形 (**had been doing**) **標準**
 ▶ when 節で示された過去の時点を基点に、wait という動作動詞でそれまでの継続を表すのだから、過去完了進行形の㊠ had been waiting を選ぶ。
- 18 継続—完了進行形を用いない場合 **標準**
 ▶ **know** は進行形にしない動詞(⇒7, Point 003)。よって現在を基点にしてそれまでの状態の継続を表すには現在完了を用いる。㊢ have known が正解。
 ▶ 進行形にしない動詞(⇒p.17【整理1】)は、当然のことながら完了進行形で用いられることはない。よって have been knowing という形も不可。

Point 008

- 19 I'll be at home watching TV until ().
 ① you come back ② you be back
 ③ you will be back ④ you will have been back (拓殖大)
- 20 When I () a thousand English words, will I be able to read
 an English newspaper?
 ① am learning ② have learned
 ③ will have learned ④ will learn (東北学院大)

Point 009

- 21 Can you give me a call when you () at the airport?
 ① arrive ② arrived ③ will arrive ④ are arrived (中央大)
- 22 Mr. Tanaka is out now, and I don't know when he () in the
 office.
 ① will be back ② is back
 ③ is being back ④ be back (愛知大)
- 23 We will go to the open market tomorrow if the weather ()
 nice.
 ① will have been ② is ③ were ④ had been (東洋大)
- 24 She is not sure if he () to today's welcome party for the
 overseas students.
 ① comes ② had come ③ will come ④ would come (日本大)
- 25 Will you ① hand this message ② to her when she ③ will come
 ④ home? (流通経大)

19 あなたが戻ってくるまで、私はテレビを見ながら家にいます。

20 英単語を1,000個覚えたら、英字新聞が読めるでしょうか。

21 空港に着いたら私に電話してもらえますか。

22 タナカさんはただ今外出中で、いつオフィスに戻られるか、私にはわかりません。

23 もし天気によければ私たちは明日、青空市に行くつもりです。

24 彼女は今日の海外留学生歓迎会に彼が来るかどうかよく知らない。

25 彼女が帰宅したら、このメッセージを手渡してくれませんか。

Point 008 時・条件の副詞節—未来のことも現在時制

- 19 **until** 節 — 未来のことも現在時制 標準
▶ 接続詞 **until / before / after / as soon as** などで導かれる節は時の副詞節になるので、**未来のことも現在時制**を用いる。
- 20 時・条件の副詞節 — 未来完了は用いず現在完了 標準
▶ **時・条件の副詞節**では未来完了は用いず、**現在完了**を用いる。
▶ 主節の前に用いられる **when** 節は副詞節。文中で用いられる場合の見分けは次の Point 009 参照。

Point 009 文中で用いられる when 節 / if 節の見分け

文中で用いられる **when** 節 / **if** 節は必ずしも副詞節とは限らない。その見分けについては、【整理2】の内容を正確に押さえておこう。

- 21 **when** 節「…するとき」 — 時の副詞節。未来のことも現在時制 標準
- 22 **when** 節「いつ…するか」 — 名詞節。未来のことは未来時制 標準
- 23 **if** 節「もし…すれば」 — 条件の副詞節。未来のことも現在時制 標準
- 24 **if** 節「…するかどうか」 — 名詞節。未来のことは未来時制 標準
- 25 時の副詞節の **when** 節なので、未来時制ではなく現在時制 標準

整理 2 文中で用いられる when 節 / if 節の見分け

A **when** 節の場合

- (1) 副詞節「…するとき」 — **when** は接続詞。(→21, 25)
- (2) 名詞節「いつ…するか」 — **when** は疑問副詞。**when** 節は文中で、主語、目的語(→22)、補語、前置詞の目的語になる。
- (3) 形容詞節「…するA (Aは先行詞)」 — **when** は関係副詞(→Point 078)。以下の **when** 節は先行詞 **the time** を修飾。

The time will come when she *will regret* what she has said.
(彼女が自分の言ったことを後悔する時が来るだろう)

* (3)の形容詞節では、**will**の重複を避けるため、**when** 節に現在時制を用いることもある。よって、文法問題で焦点となるのは(1)副詞節と(2)名詞節の場合の見分けと考えてよい。

B **if** 節の場合

- (1) 副詞節「もし…すれば」 — **if** は条件の副詞節を導く接続詞。(→23)
- (2) 名詞節「…するかどうか」 — **if** は名詞節を導く接続詞。通例、動詞の目的語で用いられる。(→24)

Point 010

26 Last year I gave him a book for his birthday, but at the party next week I () him a CD.

① am going to give

② give

③ have given

④ will have given

〈京都産大〉

27 私たちが立ち去ろうとすると、ちょうどマシューがあいさつしてきました。

We were (about / Matthew / said / leave / to / when) hello.

〈成蹊大〉

Point 011

28 私の母が亡くなってから10年になります。

□□□ (a) Ten years () () () my mother died.

(b) It () () ten years () my mother died.

(c) My mother () ten years ().

(d) My mother () () () for ten years. 〈福井工大〉

29 本格的な休暇をとって3年になる。

□□□ It's (a / had / I / real / since / three / vacation / years). 〈中部大〉

Point 010 未来を表す be going to do / be about to do の用法

26 **be going to do** 「…するつもりだ」 標準

▶「㉗…するつもりだ(主語の意志), ㉘…しようとしている(近い未来), ㉙…しそうだ(主観的判断)」の3つの意味があるが、本問は㉗の用法。

27 **be about to do** 「まさに…するところだ」 読解 標準

!!注意 文構造どおりに訳すと「マシューがあいさつしてきたとき、私たちは立ち去ろうとするところだった」となるが、「be about to do+when節」は本問のように主節から訳される場合が多い。

Point 011 「Sが…してから～になる」の表現

整理 3

「Sが…してから～になる」の表現

以下はほぼ同じ意味の表現として押さえておこう。

- (1) 時間(～)+**have passed since** S+過去時制…
- (2) **It has been [is]** +時間(～)+**since** S+過去時制…
- (3) S+過去時制…+時間(～)+**ago**.

28 「Sが…してから～になる」の書きかえパターン 英作 標準

▶(a)～(c)は上記の【整理3】の(1)～(3)を完成させればよい。

▶(d)の **have been dead for A** 「死んでAの期間になる←死んだ状態がAの期間続いている」は、現在完了で継続を表す用法。英語独特の表現として押さえておこう。本問は My mother が主語なので has been dead となる。29 **It is** +時間+**since** S+過去時制… 英作 標準

▶【整理3】の(2)のパターンを使って英文を完成させる。